

# 電子契約の実証実験の開始について

デジタル推進課

行政サービスのデジタル化による市民の利便性の向上を目指していくため、GMOグローバルサイン・ホールディングス株式会社（東京都渋谷区）が提供している電子契約サービス「電子印鑑GMOサイン」の実証実験に参加します。

## 1 実施内容

電子契約を実施する場合の事務の流れや、相手方とのやり取り、契約締結後の契約書の管理および、それに付随するコストについて現在の紙契約と比較検証し、導入課題やメリットについて整理する。

### ① 業務の流れの検証

契約事務のデジタル化により、事務の流れおよび作業内容がどのように変わるか  
他のシステムとの連携についても紙契約との違いによるメリット・デメリットを検証

### ② 契約に要する時間、費用についての検証

契約書作成および郵送に要する費用・時間等を算出し電子契約と比較  
相手方の事務および郵便代、印紙代等のコストについても比較

### ③ 電子契約の有効性についての検証

電子契約による署名・サインの有効性、契約書の改ざん等による契約書の無効化などを  
検証

## 2 実施期間

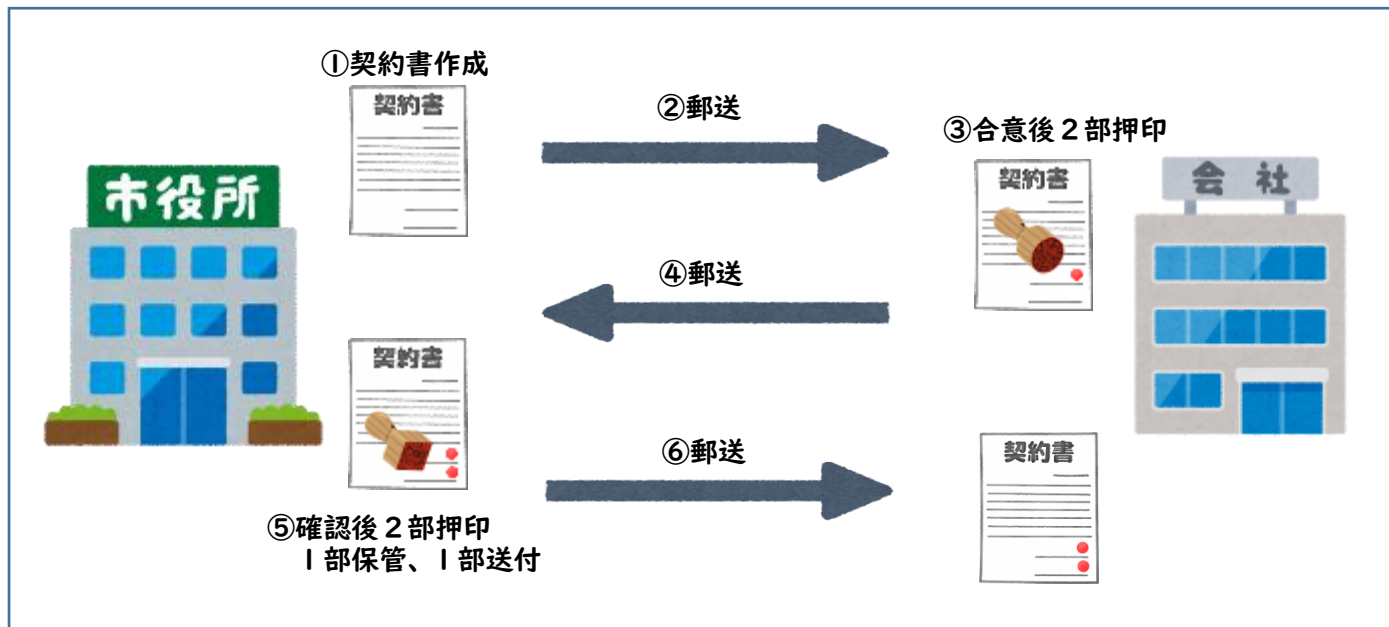
令和3年5月から令和3年12月まで

## 3 その他

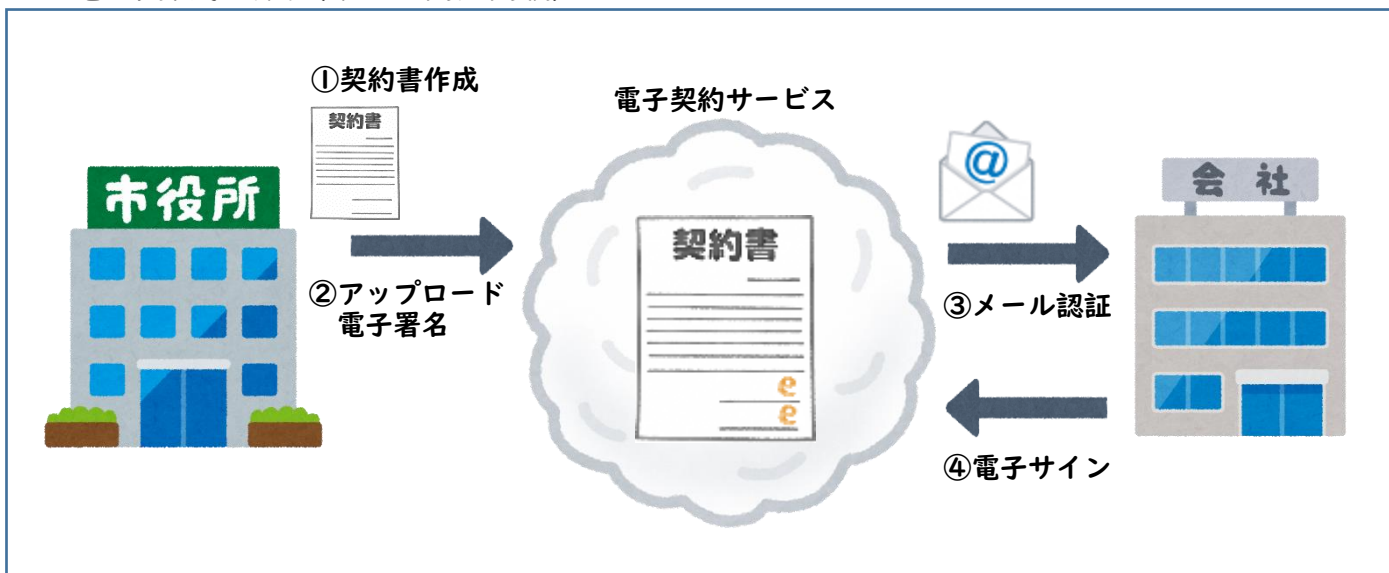
- ・本実証実験は、相手方（契約業者）の協力を得て実施することも想定しており、相手方の意見等もまとめていく予定。
- ・実証実験中の契約については、従来通り紙の契約書を原本とする。
- ・実証実験を実施している自治体 全国26団体（本県は、福井県・福井市がすでに実験中）

(参考：契約事務のイメージ)

### ○ 紙での契約事務（現在の方法）



### ○ 電子契約事務例（今回の実証実験）



- ・ 契約書は電子データ（PDF ファイル）
- ・ 契約者の署名、サインは電子契約サービス内で行う
- ・ 契約書の保管は、電子契約サービス内またはダウンロードして保管
- ・ 電子署名・サインは電子契約サービス（電子認証局）が保証する
- ・ 電子契約の場合、印紙は不要となるため、民間事業者のコスト削減につながる。